取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書別添付

家庭用

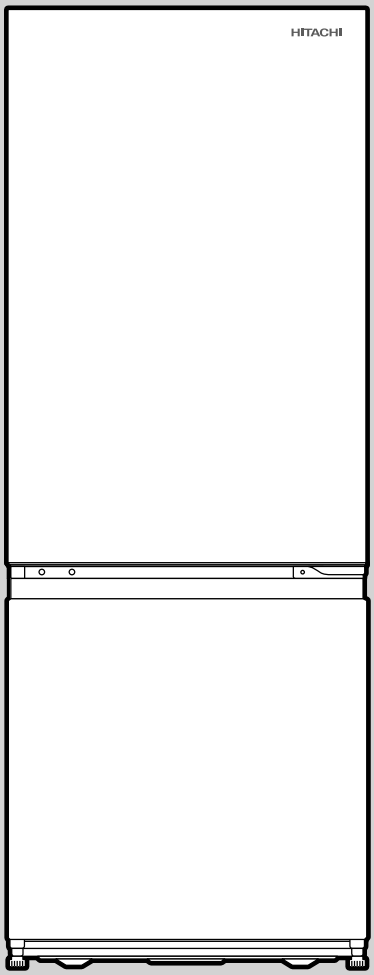
日立冷凍冷蔵庫

型式 RL-154NA
（アールエル　エヌ　エー）

このたびは、日立冷凍冷蔵庫をお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保存し、必要なときお読みください。
保証書は梱包箱の上部に添付されています。

目 次

「日立の家電品お客様サポート」の利用・・・2
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・2
準備する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　ご使用になる前の準備・・・・・・・・・・・6
　移動・運搬の準備（引っ越しをする）・・7
各種設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　温度調節（冷蔵室・冷凍室）・・・・・・・8
使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　冷蔵室／冷凍室の使いかた・・・・・・・9
　製氷皿の使いかた・・・・・・・・・・・・・9
お手入れ〈定期的な点検〉・・・・・・・・・10
部品の外しかた・取り付けかた・・・・・・11
お困りのときは・・・・・・・・・・・・・・・12
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
別売部品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
保証とアフターサービス・・・・・・・・・・15
ご相談窓口・・・・・・・・・・・・・・・・・・16



日立の家電品
お客様サポート

ホームページから
以下のサービスが
ご利用いただけます。

▶ 家電品の登録 ※1　▶ お知らせ
▶ よくあるご質問

※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。

詳しくは → P.2

- この冷凍冷蔵庫は一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
  またアフターサービスもできません。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

「日立の家電品お客様サポート」の利用

スマートフォンやパソコンで所有する家電品を一覧管理でき、お知らせやサポート情報などが入手できます。

サポート内容

▶家電品の登録※1
▶お知らせ
▶よくあるご質問

①コードを読み取る

日立の家電品
お客様サポート

▶

②画面の案内に従ってお客様サポートのご利用や家電品の登録※1を行う

※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。(無料)
保証書または製品本体の銘板に記載されている製造番号を入力してください。製品本体のコードから登録することで製造番号の入力を省略できます。

●コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
http://kadenfan.hitachi.co.jp/my/
●ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。
●ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

安全上のご注意

●この製品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。
●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
〈絵表示の例〉

禁止	指示を守る	アースを接続せよ	ぬれ手禁止
水ぬれ禁止	電源プラグを抜く	分解禁止	接触禁止

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

設置するとき

禁止

背面・側面などの冷媒回路(配管)を傷つけない
冷媒が漏れ、発火・爆発の原因になります
傷ついた場合は冷蔵庫に触れず以下の事項を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください
1.窓を開けて室内の換気を十分にする
(換気扇を使用しない)
2.火気や電気製品の使用を避ける

傷ついた物、ゆるんだコンセントを使用しない
感電・発火・火災の原因になります

アースを接続せよ

湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース(接地)・漏電遮断器を取り付ける → P.6
感電や漏電の原因になります

指示を守る

地震に備えて転倒防止処置をする → P.6
冷蔵庫の周囲はすき間をあけて設置する → P.6
冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発のおそれがあります

機器の囲い又はビルトイン構造では、障がい物をなくし、通風口を確保する

⚠警告

電源プラグ・電源コード・コンセントは

禁止

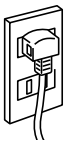
電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない
感電・発火・火災の原因になります

電源プラグ、電源コードを傷つけない
感電・発火・火災の原因になります
傷つけのおそれのある取り扱い例
●加工する ●束ねる ●無理に曲げる
●重い物をのせる ●引っ張る ●挟み込む
●ねじる

傷ついた物、ゆるんだコンセントを使用しない
感電・発火・火災の原因になります

指示を守る

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・発火・火災の原因になります



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁が弱まり、漏電・感電・火災の原因になります

水ぬれ禁止

電源プラグ、電源コードに水をつけたり、水をかけたりしない
電源プラグを水につけた場合は使用しない
漏電や感電、故障の原因になります

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電のおそれがあります

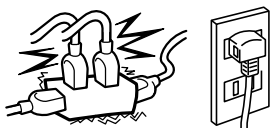
指示を守る

電源プラグのほこりは確実にふき取る（特に刃や刃の取り付け面）
ほこりに湿気が溜まり、絶縁が弱まり、火災の原因になります

指示を守る

電源は、交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用する
ほかの器具との併用は、コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります

（タコ足配線・延長コードは使用禁止）



ふだん ご使用のとき

水ぬれ禁止

本体や庫内に水をかけない
漏電や感電、故障の原因になります

分解禁止

分解・修理・改造は絶対にしない
火災・感電・けがの原因になります

接触禁止

冷凍室の金属レールには触れない
レールが動いた時に指をはさみ、けがの原因になります

禁止

本体にネジ等の鋭利なもので傷をつけない
冷媒が漏れると発火・爆発の原因になります

庫内では電気製品を使用しない

ドアを大きく開けすぎたり、開いたドアに寄りかかるなどして無理な力を加えない

冷蔵庫の上にもの、特に水を入れた容器を置かない
漏電や感電、故障の原因になります

禁止

可燃性高圧ガスが入ったエアゾール缶のような爆発性物質を保存しない
引火・爆発する危険があります

可燃性スプレーを近くで使わない
引火・爆発する危険があります

ドアやドアの内側の部品、庫内の部品にはぶら下がらない、乗らない

霜取りを早く行うとために、電熱器などの機械的な器具、または火気を使用するなどその他の手段を用いない

薬品や学術試料を入れない
厳密な温度管理が必要なものは保存できません

指示を守る

この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子どもを含む）が単独で機器を使用しない

本体で遊ぶことがないように子どもを監視する

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

もしものとき

指示を守る	異常や故障のときは、電源プラグを抜き運転を中止して、すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください 異常・故障の例 ●電源コード、プラグが異常に熱い　●焦げくさいにおいがする ●電源コードに深い傷や変形がある　●ピリピリと電気を感じる		
指示を守る	可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫やコンセントに触れず窓を開け換気する 発火・火災の原因になります	指示を守る	冷却回路（側面や天面）を傷つけたときは換気して電気製品の使用を避け販売店に相談する

廃棄するとき

指示を守る	リサイクルや保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は、ドアパッキングを外す	指示を守る	廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す 放置して冷媒が漏れると、引火・爆発のおそれがあります

⚠注意

食品を収納するとき

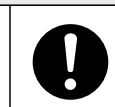
禁止	ガラス棚に強い衝撃を加えない ガラス棚が割れてけがをするおそれがあります	禁止	ガラス棚のガラス面を加熱したり、熱いものを置いたりしない ガラス棚が割れてけがをするおそれがあります
禁止	ドアポケットの底面まで入らないボトル類は入れない（無理に入れない）	禁止	食品は棚より前に出さない ガラス棚が割れてけがをするおそれがあります
禁止	においたり変色した食品は食べない 腐敗により病気の原因になることがあります	禁止	冷凍室にビン類を入れない
ぬれ手禁止	冷凍しての食品や容器（特に金属製）をぬれた手で触らない		

ドアを開け閉めするとき

禁止	冷凍室や冷蔵室ドアの底面を持って閉めない	禁止	ほかの人が触っているときは開け閉めしない
指示を守る	ドアを開放したまま、そこに隣接する他のドアを開閉する場合には、開いたドアとの間で手や指をはさまないよう十分注意してください	禁止	ドアを強く開け閉めしない 食品が落下するおそれがあります
指示を守る	ドアはすき間ができないように確実に閉めてください 長時間ドアにすき間ができたままになっていると、床に結露水や霜取りの水が滴下することがあります		

⚠注意

お手入れのとき

禁止	冷凍室底面に手や足を入れない	 指示を守る	ガラス棚は重たいため取り付け、取り外しには十分注意してください

移動・運搬・設置の時

禁止	横積み輸送はしない	指示を守る	食品や氷を取り出す
	ドアを運搬時に使用しない		ドアが開かないようテープなどで固定する また、電源プラグ・コードは、たれ下がらないようにテープで固定する
	冷蔵庫背面・側面などぶつけたりしない		床材を傷つけたり、冷蔵庫内部に残っている水がこぼれたりすることを防ぐ保護用のシート・布などを敷く
接触禁止	冷蔵庫背面の機械部に手を入れたり、圧縮機に触れない		天面後部と前脚部を持って2人で運ぶ
指示を守る	床が丈夫で水平なところに調節脚でしっかり固定する		

準備する

ご使用になる前の準備

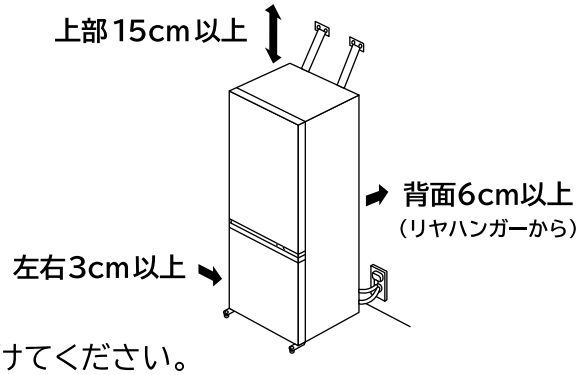
1 次のような場所に設置する

●床が丈夫で、水平なところ
じゅうたん、畳、フローリング、塩化ビニールなどの床で変形、変色の恐れがある場合は、板（1cm厚以上）を敷いてください。

●熱気・直射日光が当たらないところ

●湿気が少なく、風通しの良いところ
冷却力の低下や、電気代の増加をおさえます。
また、変色やさびをおさえます。

●他の機器から離れたところ
テレビなどへの雑音や映像の乱れを防止します。



お願い

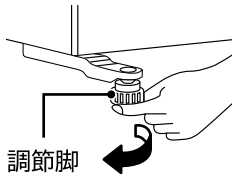
●効率良く冷やすために、周囲に十分な放熱スペースをあけてください。

●本体側面中央部は表示寸法より若干大きめになる場合があります。
余裕を持って設置してください。

2 冷蔵庫を固定する

冷蔵庫前面下側の調節脚を回して固定します。

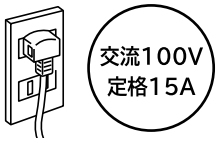
調節脚を回して、脚を床面まで降ろし固定する（左右2ヶ所）



お願い

●地震に備えて「冷蔵庫用地震転倒防止ベルト」（別売部品）を2セット（左右各1セット）ご使用になり、丈夫な壁や柱に固定していただくことをおすすめします。 → P.15

3 電源プラグを差し込む



設置後、すぐに電源プラグを差し込んでも問題ありません。
コンセントは単独で差し込んでください。（交流100V、定格15A以上）

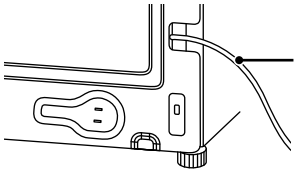
●電源プラグやコードが冷蔵庫背面と壁との間にはさまれていないか確認してください。
コードの発熱を防ぎます。

庫内の冷却がはじまります

- 冷蔵庫の周囲の温度や、食品の収納状態によって庫内が十分に冷えるまでに**約4時間程度かかります。**
- **夏場など暑いときは、24時間以上**かかることがあります。
  アイスクリームや冷えていない食品、傷みやすい食品は庫内が十分冷えるまで入れないでください。

万一の感電防止のためにアース接地をする

- 湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース・漏電遮断器の取り付けを販売店にご相談ください。



※アース線は付属しておりません。
市販品をお求めください。

アース線を接続してはならないところ

- ●水道管（感電の危険）
- ●ガス管（爆発の危険）
- ●電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

お知らせ

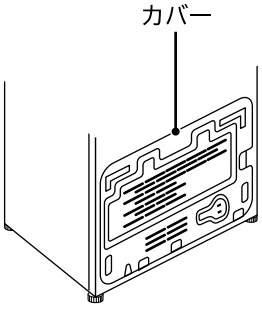
●使いはじめにプラスチックからにおいがすることがあります。においはしだいに消えますが、気になる場合はお部屋の風通しをよくし、換気を行ってください。

ご注意

●背面のカバーを外さないでください。

●マグネットや吸盤、ステッカーなどを本体やドアの表面に付けた場合、跡が残る場合があります。

●**硫化ガス噴出の温泉地区等に設置する場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。**



移動・運搬の準備（引っ越しをする）

1 食品や氷を取り出す

2 電源プラグを抜く

移動直前でも構いません。

3 調節脚を上げる

4 ドア・電源コードをテープで固定する

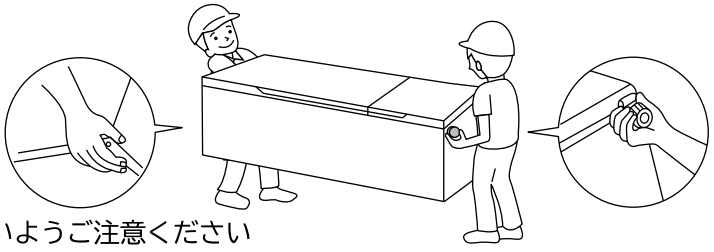
5 移動・運搬時には通路に保護用のシート・布などを敷く

床材を傷つけたり、冷蔵庫背面下部の蒸発皿に水が残っていると
移動・運搬時に水が床面にこぼれることがあります。

6 保護用シート・布などを置き、冷蔵庫を後方に倒して、水抜きをする

7 天面後部と前脚部を持ち、2人で運ぶ

輸送のときは横積みしないでください。
（冷蔵庫の故障の原因になります）



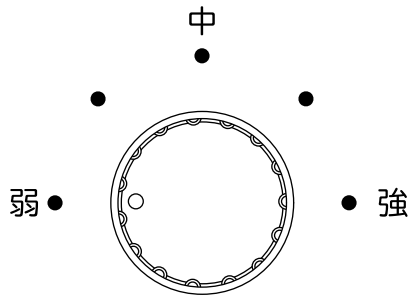
滑らないようご注意ください

8 ご使用になる前の準備にしたがって設置する → P.6

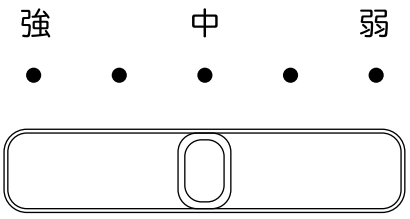
各種設定

温度調節（冷蔵室・冷凍室）

1 温度を変えたい場合は目盛りを回し、お好みの位置に合わせる



冷蔵室



冷凍室

出荷時は、「中」に設定されています。

冷蔵室	強	「中」より約2℃低くなります。
	中	約2～5℃
	弱	「中」より約2℃高くなります。

冷凍室	強	「中」より約2℃低くなります。
	中	約-18℃以下
	弱	「中」より約2～3℃高くなります。

※周囲温度32℃、冷蔵室・冷凍室ともに「中」設定で食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安温度です。

●通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。

お知らせ

●冬場など冷凍室の冷えが弱いときは、冷凍室と冷蔵室の温度調節を「強」でお使いください。

●冷蔵室または冷凍室が冷え過ぎると感じるときは、「弱」にしてお使いください。

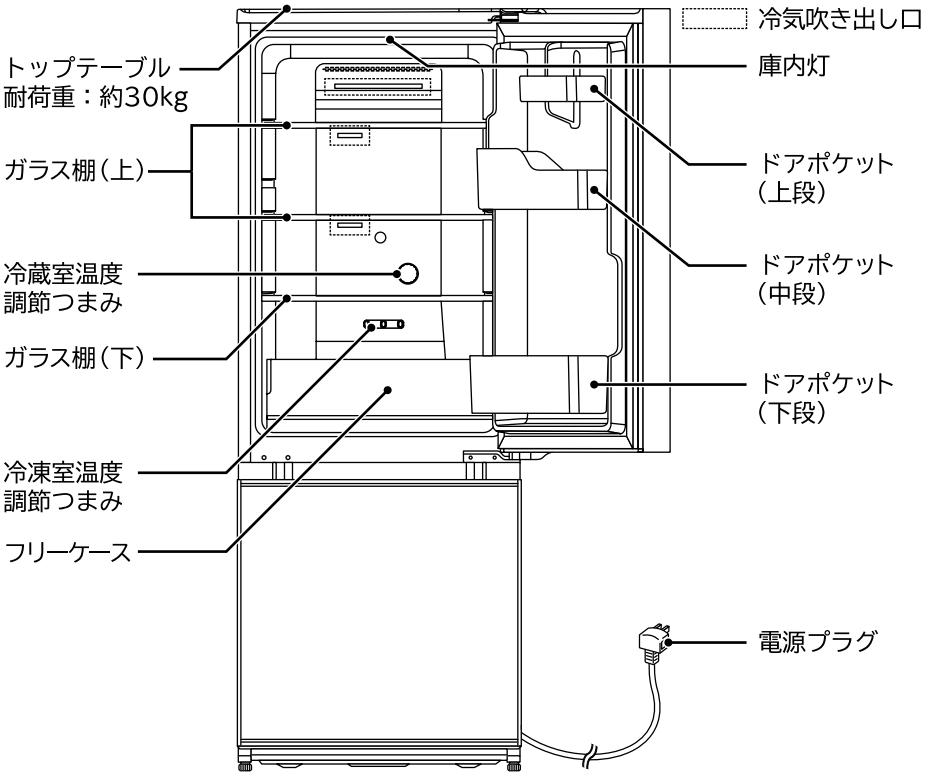
●夏場の特に暑い時期にドア開閉をひんぱんに行うと、アイスクリームがやわらかくなることがあります。その場合は冷凍室ダイヤルを「強」でお使いください。

●ドアポケットは上記の温度より若干高めになります。

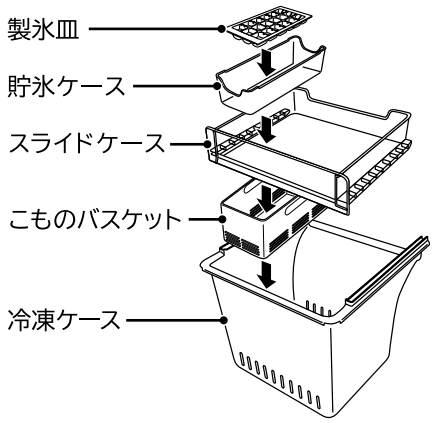
●冷蔵室のフリーケース内は温度が低下する場合があります。凍結し易い食品は、上方の棚に冷気吹き出し口から離して保存してください。

使いかた

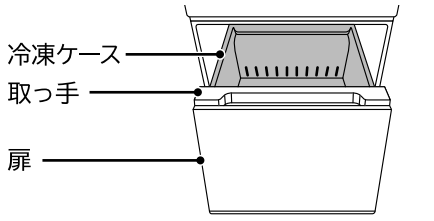
冷蔵室／冷凍室の使いかた



付属品



冷凍室



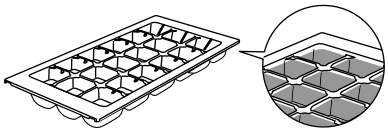
ご注意

- ●表面温度が100℃を超えるような熱器具（オーブントースターなど）を載せないでください。
- ●ドアを大きく開けすぎたり、開いたドアに寄りかかるなどして無理な力を加えないでください。ドアが破損するおそれがあります。
- ●冷蔵室の冷気吹き出し口付近に水分が多い食品や缶飲料を置くと凍ったり破裂する恐れがありますので、棚の前側かドアポケットに収納してください。
- ●熱いものは冷ましてから入れることをおすすめします。
- ●においの強い食品はラップをすることをおすすめします。
- ●ガラス棚に強い衝撃を加えないでください。（ガラス棚が割れてけがをする恐れがあります。）
- ●ガラス棚は重いため取り付け、取り外しには十分注意してください。

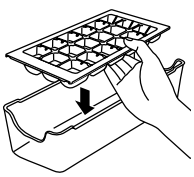
製氷皿の使いかた

1 製氷皿に水を入れる

右図の水位まで水を入れて下さい。

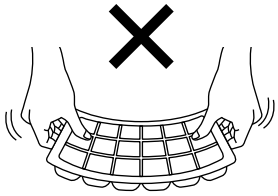


2 製氷皿を貯氷ケースの上に置く



ご注意

- ●製氷中のどこでもアイスセットの移動は静かに行ってください。
  製氷皿の水がこぼれたり、表面に凹凸などのある氷ができることがあります。
- ●製氷皿は図のような方向に折り曲げないでください。割れることがあります。
- ●貯氷ケースで製氷しないでください。割れることがあります。



お手入れ〈定期的な点検〉

⚠警告

お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

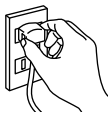
■汚れに気づいたら

● すぐにふき取りましょう。見えない部分も年に一回はお手入れすることをおすすめします。

電源プラグ（年に1、2回）

1 電源プラグをコンセントから抜く

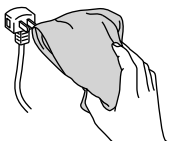
電源プラグについたほこりをそのまま放置すると火災の原因になります。



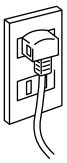
2 点検する

コードに傷はありませんか？
電源プラグが熱くなっていませんか？
※異常を感じたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

3 ほこりなどを取り除き、乾いた布で拭く



4 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む



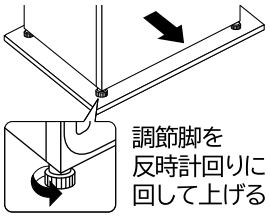
お知らせ

電源プラグをコンセントに差し込んでも、庫内温度の状態によって、5分間は運転を開始しません。

冷蔵庫背面・床（年に1、2回）

1 調節脚を床から浮かせ、冷蔵庫をまっすぐ手前に引き出す

キズの付きやすい床では、保護用の板などを敷いてください。



2 背面・壁・床の汚れをふき取る

背面は空気の対流により、細かいホコリが付着して汚れやすいところです。

ドア表面（月に1回）

やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき落とし、その後、乾いた布できれいにふき取ってください。

各棚・ポケット・ケース（月に1回）

やわらかい布にぬるま湯をふくませてふいてください。
取り外しかたは → P.11

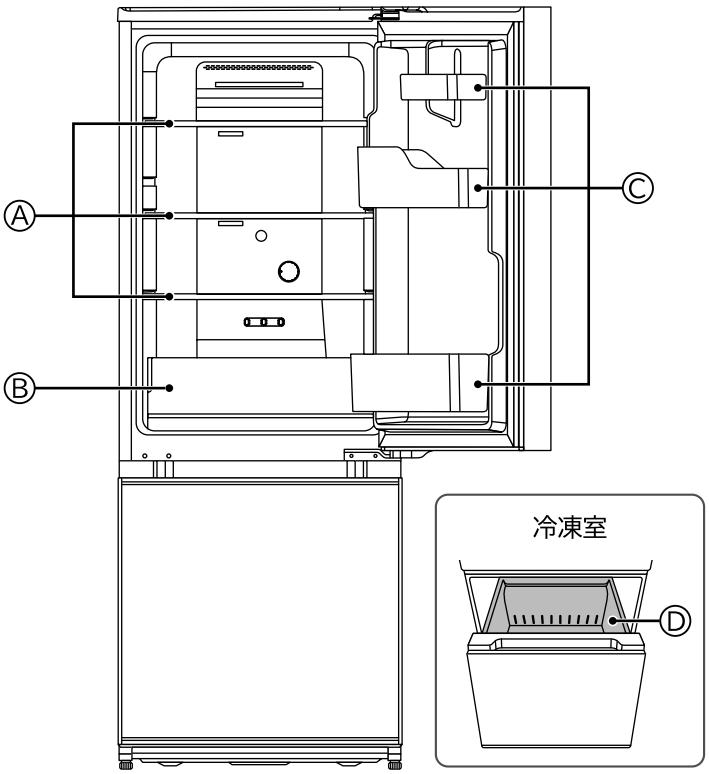
ドアパッキング（月に1回）

汚れやすいところなので、よくふき取ってください。

ご注意

- ●冷蔵庫背面の機械部に手を入れたり、圧縮機に触れないでください。
- ●ドア、塗装面やプラスチック、ガラス面を傷めたり、変色させたりする場合がありますので、次のものは使わないでください。アルカリ性、弱アルカリ性の台所用洗剤、磨き粉、粉石けん、石油、熱湯、たわし、酸、ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤など（洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」の欄をご確認ください。）
- ●化学ぞうきんをご使用の際には、その注意書きに従ってください。
- ●食用油、かんきつ類の果汁、食品の汁が付いたときは、必ずふき取ってください。付着した部品が変色したり割れたりする場合があります。
- ●マグネットや吸盤、ステッカーなどを本体側面やドア表面に付けた場合、跡が残る場合があります。

部品の外しかた・取り付けかた



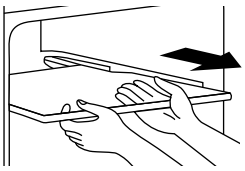
ご注意

- ●部品を外すときは、部品に載っている食品を取り除いてから行ってください。
- ●ここで説明している部品以外は、外さないでください。説明していない部品を外して掃除をしたいときなどは、ご相談窓口にご相談ください。
→ P.16
- ●冷蔵室ドアを閉めるときは、スライドケースを押し込んだ状態で閉めてください。ケースを引き出した状態でドアを閉めると、ケースや食品が破損することがあります。
- ●部品の取り外し、取り付けの際は、ドアを90度以上開いてください。

Ⓐガラス棚

棚の手前を少し持ち上げ、
手前に引き出す。

取り付けの際は、棚をしっかり奥まで押し込んでください。



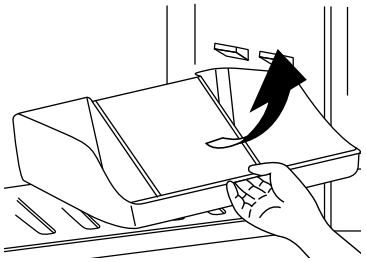
ご注意

- ●ガラス棚は重いため取り付け、取り外しには十分注意してください。
落下すると打撲や破損によりけがをする恐れがあります。

Ⓑフリーケース

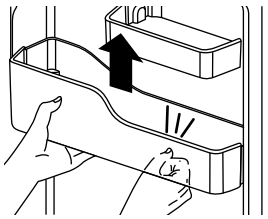
斜め上に引き出す。

取り付けの際は、しっかり奥まで
入れてください。



Ⓒドアポケット

底面の左右を軽くたたきながら持ち上げて外す。
（固めに固定してあります。）

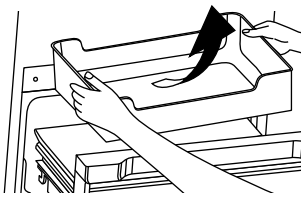


ご注意

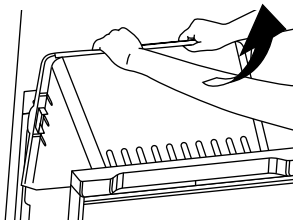
- ●取り付けの際は、最後までしっかり入れてください。
取り付けが不十分だと外れて落下し、けがの原因になります。

Ⓓスライドケース／冷凍ケース

冷凍室ドアを引き出し、製氷皿を取り出してからスライドケースを斜めに取り出す。

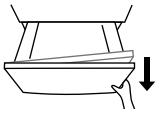


冷蔵室ドアを開け、冷凍ケースを持ち上げて斜め上に取り出す。



お困りのときは

	こんなときは	確認してください	直しかた
使いはじめ	**よく冷えない**	夏場や食品が多い場合は、冷えるまでに時間がかかります。	故障ではありません。 設置直後は、**24時間以上**かかることがあります。
ドアの傾きが気になる	**ドアが傾いている**	設置場所が水平でない可能性があります。	性能上問題なくそのままお使いいただけますが、気になるときは、左右の調節脚で調整してください。→ P.6
		床材がやわらかく、収納物の重みが加わり脚が沈んでいませんか？	冷蔵庫本体が傾く場合は、厚さ1cm以上の丈夫な板を敷いてください。
	ドアを閉めた直後開けようとすると重い	庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるためです。	異常ではありません。
	ドアを閉めると他のドアが開く	各室は冷気通路でつながっているため、ドアを閉める風圧で他のドアが一瞬開くことがあります。	異常ではありません。
熱くなる	**冷蔵庫の側面が熱くなる**	冷却装置が運転するときに発生する熱を外に逃がすために熱くなることがあります。	設置直後や夏場は50～60℃になることもあります。安全および性能上問題はありませんが、手をふれないでください。
気になる	**プラスチックのにおいがする**	庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。	異常ではありません。
においが	**庫内がにおう**	においの強い食品をそのまま収納していませんか？	ラップをかけるなど密封して収納してください。
冷えない	**冷えない 霜・露がつく アイスがやわらかい**	食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？	ドアを閉めた状態でドアパッキングにすき間がないことをご確認ください。
		食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？	収納する食品の高さに注意してください。 食品はすき間をあけて収納してください。
		冷蔵庫を設置した場所やすき間、周りの状況などによって冷えにくい場合があります。	正しく設置されているかご確認ください。→ P.6
		温度設定が「弱」になっているとよく冷えない場合があります。	よく冷えない部屋の温度設定を「中」または「強」に変更してください。→ P.8
		夏場など、冷蔵庫の周囲の温度が高くなっていませんか？	よく冷えない部屋の温度設定を「強」に変更してください。
		冷蔵庫のドアを開けている間は庫内の温度が少しずつ上がります。開け閉めがひんぱんまたは長い時間ドアを開けたままにしておくと、庫内の温度が下がりにくくなります。	開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてください。
冷えすぎる	**冷え過ぎる 凍ってしまう**	温度設定が「強」になっていませんか？	「中」にしてください。→ P.8
		周囲温度が5℃以下ではありませんか？	周囲温度が低いときは庫内が冷え過ぎることがあります。温度設定を「弱」にしてください。
		冷気吹き出し口の手前に置いていませんか？	冷気吹き出し口の手前には置かないでください。
霜や露がつく	**庫内に霜や露がつく**	一時的にドアが半ドアになっていた可能性があります。	ドアを閉める際は食品や袋がはさまっていないかを確認してください。
		開け閉めの回数が多いとき、長時間開け続けた可能性があります。	開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてください。
		外の暖かい空気が庫内に触れると霜や露がつくことがあります。	乾いた布でふき取ってください。
		ドアを開閉したときに、空気中にふくまれる水分が、霜や氷となって、冷凍室の壁面や部品につくことがあります。	故障ではありません。 乾いた布でふき取ってください。

	こんなときは	確認してください	直しかた
霜や露がつく	**冷蔵庫の外側に露がつく** （外装、ドアパッキング、ドアなど）	雨の日など屋内の湿度が高いときは露がつくことがあります。	故障ではありません。乾いた布でふき取ってください。
		温度設定が「強」のときはドア表面に露がつくことがあります。	乾いた布でふき取ってください。温度設定を「中」にしてください。
	冷蔵庫の中が結露する	ドアの開け閉めの回数が多いときや、冷蔵庫の周囲の湿度が高いときは壁などが曇ったり、冷気吹き出し口のまわりに露がつくことがあります。	故障ではありません。 乾いた布でふき取ってください。
	冷凍庫の扉を引き出したとき、左右の引き出し量が違う	 引き出し量が違う状態 （現象が図と左右、逆の場合があります） 元の状態	異常ではありません。 引き出し量の少ない側の扉側面中央部を持ち、少し強めに手前へ引き出すと元の状態に戻ります。 
音がきになる	**冷蔵庫から聞こえる音がうるさい**	床がたわんでいませんか？	丈夫な板を敷いてからその上に設置してください。→ P.6
		冷蔵庫が壁や家具などに当たっていませんか？	冷蔵庫の周りにすき間をあけて設置してください。→ P.6
		ご購入後、使いはじめなど冷蔵庫が冷えていないときや、ドアの開け閉めが多いとき、周囲の温度が高いときはコンプレッサーが高速運転をするため、音が大きく感じることがあります。	十分に冷えれば音は小さくなります。夜間や留守中など、長時間食品の出し入れがない場合は、圧縮機が低速で運転しますので、振動が大きくなることがあります。
	ときどき音が大きくなる	庫内の温度変化に合わせて運転する力を変更しているためです。	異常ではありません。
	その他このような音が聞こえた時は	水の流れるような音（チョロチョロ） 衝突するような音（コツコツ） 沸騰するような音（ボコボコ） 肉を焼くような音（ジュー）	冷蔵庫を冷やすための冷媒が流れる音、霜取りの際に水が流れる音、蒸発する音です。 異常ではありません。
		きしむような音（ピシッ） （コトン）	冷蔵庫の温度が変化するときに、部品がきしむ音です。 異常ではありません。
		何か引っかかるような音（コトコト） うなるような音（プー） 扉を閉めた直後の音（ブーン） 冷凍室ドアを開けているときの音（ブーン）	庫内の温度を制御する電気部品の動作する音です。 異常ではありません。
		ときどきする音（カタカタ）	庫内を冷やすための運転をはじめるときの音です。 異常ではありません。
その他	**プラスチック部品に傷のような細い線がある**	プラスチックを成形する際に発生する樹脂の流れの跡です。	透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく割れに至ることはありません。
	扉面や側面・天面に波打ちや歪みがある	冷蔵庫の製造工程上、波打ちや歪みが生じます。	光源の位置や明るさなどによっては目立つことがありますが、性能上は問題ありません。
	停電した	復旧するまでの間はドアの開閉を減らし、新たな食品の収納はさけてください。	停電復帰した後は、操作部の設定をご確認ください。
	長期間使わない	庫内のものを全て出し、電源プラグを抜いて庫内のお手入れをしてください。	2～3日間全てのドアを開けて乾燥させてください。 → P.10、11
	霜取りをする	この冷蔵庫は自動で霜取りをしますので、操作は必要ありません。	解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
	移動・運搬をする	—	「移動・運搬の準備（引っ越しをする）」をご覧ください。 → P.7

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
またアフターサービスもできません。

型式		RL-154NA
種類		冷凍冷蔵庫
定格内容積	全定格内容積	154L
	冷凍室（フォースター）	42L〈29〉
	冷蔵室	112L〈84〉
外形寸法	幅	479mm
	奥行	580mm
	高さ	1,270mm
定格電圧		100V
定格周波数		50/60Hz 共用
電動機の定格消費電力		47/49W
電熱装置の定格消費電力		115W
年間消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。
質量		約43kg

※〈 〉は食品収納スペースの目安です。

●定格内容積は、日本産業規格（JIS C9801-3：2015）に基づき、庫内の温度制御に必要でない庫内部品（棚やケース等）を外した状態で算出したものです。

●食品収納スペースの目安は、日本産業規格（JIS C9801-3：2015）に基づき、庫内部品を取り付けた状態で算出したものです。

●貯蔵室ごと（例えば、冷蔵室、冷凍室等）に、定格内容積と併せ食品収納スペース（貯蔵室ごとの実際に食品を収納することができる空間の容積）の目安を表示しています。

●（　）内は、消費電力量試験での各室の目標温度の区分を示します。目標温度の区分は日本産業規格（JIS C9801-1：2015 および 9801-3：2015）に定められています。

●この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

消費電力量について

■年間消費電力量は、JIS C 9801-3：2015で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。

■使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。

年間消費電力量測定方法の概要

	JIS C 9801-3：2015 消費電力測定方法			
種　類	冷凍冷蔵庫 「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷蔵室	冷凍室
	-18℃以下	4℃以下	4℃以下	-18℃以下
周囲温度	32℃及び16℃			
周囲湿度	32℃測定時：70±5%		16℃測定時：55±5%	
消費電力量の表示	年間消費電力量（kWh/年） （周囲温度32℃測定による1日当りの消費電力量205日分と周囲温度16℃測定による1日当りの消費電力量160日分の合計）			

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ☆☆☆（フォースター）です。

冷凍室の性能は、日本産業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

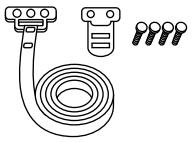
記号	☆☆☆ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	-18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3ヵ月

■市販冷凍食品の貯蔵期間

冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

別売部品

■次の部品を購入する場合は、最寄りの販売店にお問い合わせください。

こんなときに	商品名	商品型式	
地震に備えて	冷蔵庫用地震転倒防止ベルト （取り付け要領書付き） ※2セット必要となります。	R-826CV 300 希望小売価格 1,144円（税込） ※1セットの価格です。	

※上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。→ P.16

保証書（別添）	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。 **保証期間はお買い上げの日から1年です。ただし、冷凍サイクル（圧縮機・凝縮器・冷却機・配管）冷却器用ファンおよび冷却器用ファンモーターについては5年間です。**	
修理を依頼されるときは 出張修理	**保証期間中は**	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。
	保証期間が過ぎているときは	修理によって使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。
補修用性能部品の保有期間	冷蔵庫の補修用性能部品を製造打ち切り後9年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。	
ご転居されるときは	ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。	
修理料金のしくみ	修理料金＝技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。 **技術料**：診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。 **部品代**：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。 **出張料**：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。	

ご相談窓口

家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理に関するご相談窓口

TEL　0120-3121-68
携帯電話から　0570-0031-68（有料）
FAX　0120-3121-87
（受付時間）9:00～18:00（月～土）、9:00～17:00（日・祝日）

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL　0120-3121-11
携帯電話から　050-3155-1111（有料）
FAX　0120-3121-34
（受付時間）9:00～17:30（月～土）、9:00～17:00（日・祝日）
年末年始は、休ませていただきます。

- 「出張修理」および「部品購入」については、上記窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

https://www.hitachi-gls.co.jp/about/environment/jmoss/

このマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率が基準値以下であることを示しています。
（規定の除外項目を除く）
JIS C 0950：2008

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。https://www.hitachi-gls.co.jp/about/environment/jmoss/

愛情点検

長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

●冷凍冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年間です。

ご使用の際、このような症状はありませんか？	ご使用中止
● 電源コードが折れ曲がったり破損している。 ● 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ● 焦げくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や火花（スパーク）が出る。 ● 本体に触れるとビリビリと電気を感じることがある。 ● その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご利用済みの冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合には、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号（日立愛宕別館）
電話 03-3502-2111

201207-1